様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和6年度 第3回益田市人権・同和問題解決推進委員会
開催日時	令和7年2月17日（月）午後2時から午後3時25分
開催場所	益田市人権センター
出席者及び欠席者	○出席者 【委員】 渡辺委員（委員長）、原田委員、寺戸委員、金山委員、花本委員、福田委員、野村委員、前田委員、山本委員、椿委員、森本委員、豊田委員、栗原委員、塩満委員 14名 【関係課】 小田川人事課長、志田原子ども福祉課長、桐木子ども家庭支援課長、盆子原健康増進課長、大庭福祉総務課長、齋藤障がい者福祉課長、小林高齢者福祉課長、齋藤教育総務課長、田原学校教育課長、房野学校教育課参事、松本産業支援センター所長 11名 【事務局】 和崎福祉環境部長、人権センター山下館長、栗山館長補佐、波田主任主事 4名 ○欠席者 落合委員、長岡委員 2名
議題	①益田市人権・同和問題基本計画に係る令和6年度事業の進捗状況について ②益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例の制定について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
問合せ先	福祉環境部 人権センター 電話：0856-31-0412

経過

1 開会	
2 会議の成立について	
事務局	委員16名中14名の出席。益田市人権・同和問題解決推進委員会設置規則第5条第2項に基づき会議が成立していることを報告。
3 議事	
① 益田市人権・同和問題基本計画に係る令和6年度事業の進捗状況について（資料1）	
令和6年度事業の進捗状況「1同和問題」について事務局より説明	

委員長	<p>ありがとうございました。ここで質疑に入りたいと思いますがいかがでしょうか。それでは、簡単な質問を私から。</p> <p>事業計画と照らし合わせて1ページ②の社会教育の取組の中で、計画においては益田・美都・匹見で講座を3回、人権標語啓発塔の改修1か所とありますが、それに対する実績はどのようになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>ここでは、益田・美都・匹見の地区同推協において同和問題など講演会の開催を計画しており、益田では吉岡綾さん（部落解放同盟福岡市協議会青年部）をお招きして同和問題に関する研修会を行いました。</p> <p>美都においては、人権センター職員を講師に、災害に関する人権研修会を行いました。詳細は12ページの様々な人権問題の項目にて説明します。</p> <p>匹見については、女性の人権として、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）というテーマで研修会を行いました。詳細は2ページの女性の項目にて説明します。なお、こちらの事業実績には同和問題についてのみ記載しております。</p> <p>また、人権標語啓発塔の改修については、現在真砂地区と協議を進めており、年度内での修繕を予定しております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。なければ先に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは2の女性についてお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「2女性」について事務局より説明	
委員長	<p>ありがとうございました。いかがでしょうか。</p> <p>次に、3の子どもについてお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「3子ども」について事務局より説明	
委員長	<p>ありがとうございました。結構項目が多いですが、子どもに関することで皆さんご発言いかがでしょうか。</p>
委員	<p>ヤングケアラーについて質問させていただきます。今年度は周知啓発について丁寧に進めてこられたことが分かりました。</p> <p>前々回の会議で、ヤングケアラーの相談窓口を設置されたことをうかがいました。その相談状況などを教えてください。</p>
事務局	<p>直接市民の方からヤングケアラーについての相談はありませんが、学校や複数の機関から、「もしかしたらこれはヤングケアラーに該当するのではないか」という相談は何件か寄せられました。</p> <p>現時点では、7、8件ほど該当になると思われる世帯がありますので引き続き支援を行っているところです。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にどなたかございませんか。</p> <p>次に、4の高齢者について説明をお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「4高齢者」について事務局より説明	

委員長	説明ありがとうございました。何かご質疑ありますでしょうか。
委員	<p>質問ではないですがよろしいですか。</p> <p>相談の体制の充実に関して、高齢者 80 代後半のご夫婦の話です。お二人とも同じくらいの日に入院され遠方より子供さんが交代で見ておられました。同じくらいの日に出院が決まり、ご夫婦の一人から連絡があったのですが、「自分は家に帰っても料理などをすることができない」とすごく不安そうな感じで声が沈んでいました。私はすぐに包括支援センターに取り次ぎ、その後相談することができたようです。</p> <p>それから私も心配でしたので「どう」と声を掛けたら、「相談して良かったわ」と言っておられました。2人での生活をどのようにしたらいいかすごく不安がっておられて、早めにこうした支援の相談する場所がある、なにかのときにはここに電話するようにというところまできちんと言ってくれただけだと、少し安心されたようでした。だから相談窓口やその体制があることはすごく大事なことだと思います。</p> <p>またサロンでは、「お元気で歩いていきましょう」がテーマですが、なかなかそういうわけにはいかず、どうしても足が悪くなって行きづらくなっております。ただ、送迎の点は、中西地区では需要がありますのでそれを利用してできるだけ参加してもらって元気になってもらうことが大切なことではないかと、顔を合わせる事が地域で生活する上で大事なことではないかと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。これが現場の声だと思います。色々な相談窓口が機能していることがうかがえましたので安心したところです。他にご発言がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>次に、5の障がいのある人について説明をお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「5障がいがある人」について事務局より説明	
委員長	ありがとうございました。何かありますでしょうか。
委員	<p>「ろう者」、「ろうあ者」の情報保障についてお聞きします。皆さん高齢化しており、介護保険に係る認定調査やヒアリング等の際、手話通訳者の派遣に関して大変不安を感じておられるようです。</p> <p>また、高齢者にも関係しますが、独居で高齢者の年齢に達していない「ろう者」、「ろうあ者」の方が安否確認のための緊急情報装置を利用することが制度上可能なのか、可能でないのか、教えていただければと思います。</p> <p>同様に、介護保険で配食サービス等についても使えるものかどうなのか、教えていただければと思います。</p>
委員長	質問が3点あったと思いますが。1点目は手話通訳の派遣が可能かどうかということでした。こちらについての回答をお願いします。
事務局	介護保険の認定調査について先に説明します。現在、手話が必要な方についての調査も実際に行っています。どうしても手話通訳が必要な方についてはご本人に派遣申請や費用負担をしていただいておりますが、市が行う調査においては極力筆談な

	<p>どでコミュニケーションしながらある程度対応している状況です。ただ、サービスを利用する際の対応については、今課題となっていますので、何らかの形で解決に向けて取り組まなければならないと思っています。</p> <p>障がいの区分認定調査について説明します。まず、「ろう者」、「ろうあ者」に対する通訳者の派遣は市の事業として行っていますので、前提として、認定調査に限らず全てに利用できるものです。また、障がい者施設が関わるケースについては、従来から障がい者施設の方が費用負担を行い、通訳者の派遣を依頼する状況にありますので、ご懸念の問題は障がい者の区分認定調査に関しては当たらないという認識です。</p>
委員長	<p>質問の2点目の安否確認、そして3点目の配食サービスについて事務局より回答ができればお願いします。</p>
事務局	<p>緊急通報装置の貸付け、配食サービスとも同様の対象者になりますので一括して説明します。現行で高齢者という制度の縛りがあります。そのため、高齢者の方と常時見守りや安否確認が必要な障がい者が同一世帯におられる場合、高齢者の方は制度の対象となりますが、同居する障がい者が65歳に達してなければ、その障がい者に対する高齢者事業としての緊急通報装置、配食サービスは対象になりません。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他の方いかがでしょうか。</p> <p>次の6の外国人というテーマについて説明をお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「6 外国人」について事務局より説明	
委員長	<p>いかがでしょうか、よろしいでしょうか。</p> <p>ここからは一括して説明をしていただき、一括して質疑応答としたいと思いますのでお願いします。</p>
令和6年度事業の進捗状況「7 ハンセン病回復者等とその家族及び感染者患者・感染者等」「8 北朝鮮当局による拉致問題等」「9 犯罪被害者等」「10 インターネットによる人権侵害」「11 性的指向・性自認等」「12 様々な人権課題」について事務局より説明	
委員長	<p>ありがとうございました。ハンセン病感染者の項目等説明がありましたが、何かありましたらお願いします。</p>
委員	<p>12の様々な人権課題のところで、以前自死されたご家族の方から相談を受けました。自死についての相談・課題は当事者からあるのでしょうか、ないのでしょうか。ここに記載がないので質問させてください。</p>
事務局	<p>自死された方の家族の団体と一緒に、家族の方への支援等相談窓口という形での周知等々行うほか、自死対策を考えるネットワーク会議という連絡会議を設けております。その委員にも自死の家族の会の方に参加していただきご意見をいただきながら対策を考えております。また3月には予防週間があり、益田でもパネル展示をEAGAで行いますのでぜひ見て頂けたらと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。資料には記載がありませんが、重要な人権課題だと認識しております。</p>

	確認ですが自死家族に関する相談窓口等々は健康増進課で間違いはないですか。
事務局	はい、健康増進課が自死対策の担当をしております。
委員長	<p>ありがとうございました。基本計画に関わる進捗状況について、最初から最後まで通してご発言がありましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>レジメに従いまして第2号の報告事項ですが、益田市の条例について説明をお願いします。</p>
②益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例の制定について（資料2）	
益田市差別のない人権尊重の社会づくり条例の制定について事務局より説明	
委員長	<p>ありがとうございました。今説明がありましたとおり、この委員会での審議は終了し、既に市議会にて議決されているということの報告でありました。</p> <p>市議会での審議の様子で具体的な内容が聞けるものがあれば教えていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>本議会でのご意見ご質疑はありませんでした。しかしながら節目のたびに福祉環境委員会で報告をしておりますので、その中でのご意見等について報告させていただきます。</p> <p>条例の文言というよりは、条例制定に付帯するご意見だったと思います。2点あります。「こうした条例はまちづくりを進めるうえでも必要でありとても大切、深める必要があるもの」、「小さいうちから人権意識を育みながら成長できるよう、また大人になってからもDVや虐待などの問題もあるので、個々の育ってきた環境を大切にするような観点で取組を進めて欲しい」というご要望だったと思います。</p> <p>それから条例や人権問題に限らず、市民を取り巻く生活環境や、行政サービス、所得の問題など、市民は十分に満足していない状況があります。横の連携を密に取りながらしっかり取り組んでほしいとこちらもご要望がございました。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>この件につきまして何かご発言がありますでしょうか、よろしいでしょうか。ではこの議事についても終わりとさせていただきます。予定された議事は以上です。その他事務局から何かありますでしょうか。</p>
4 その他	
事務局	事務局からは何もございませんので以上になります
委員長	<p>今日はありがとうございました。いずれも報告事項ということでスムーズに会が進行しました。</p> <p>先程の条例制定に伴いまして、この人権・同和問題解決推進委員会は本年度3月末をもって発展的に解消し、4月1日の新しい年度からは条例に基づいた審議会という形で再スタートすることになっています。従いまして、この推進委員のメンバーでの集まりは最後ということになります。この1年間大変お世話になり、ありがとう</p>

	ございました。以上で終わります。
事務局	以上をもちまして、令和6年度第3回益田市人権・同和問題解決推進委員会を閉じたいと思います。本日は誠にありがとうございました。